

# 事務事業評価表

## 1. 基本事項

作成日 令和06年06月20日(木)

事務事業		指揮活動支援事務		担当課	花園消防課	担当係	花園消防署	管理番号	61211
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	備えができ安全・安心なまちづくり	根拠法令 個別計画等	・消防法				
	小項目	2	消防・救急体制の充実						
	主要プロジェクト								
事業概要		平成17年6月に消防力の基準が改正、全国の消防署に指揮隊を配備するよう指針が示された。当市消防本部では、平成20年度に警防課へ指揮隊1隊を配置し、平成24年度からは、深谷消防署及び花園消防署の両署に指揮隊を配備し、災害活動時における安全管理および二次災害発生防止を図るとともに、円滑、効果的な部隊運用を推進する。							
目的 ※何のために		災害活動時の安全管理の確保と、円滑かつ効果的な活動を推進し、市民の安全、安心を守る。							
対象 ※誰・何を対象に		市民の生命、身体及び財産。							
手段 ※どのように		訓練及び研修会を実施する。							
成果 ※何を求めるか		災害活動時の職員受傷事故ゼロを目指す。							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他( )							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)	
本事業の 主な業務		・ 指揮隊災害出場統計の作成				・			
		・ 指揮支援活動業務				・			
		・ 訓練及び災害活動時の安全管理				・			
		・ 災害活動技術の調査研究				・			
		・ 指揮資器材の維持管理業務				・			
		・ 各種訓練の立案、調整、実施に関する業務				・			

## 2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画							
事業費	予算(現額)	0	0	0	0		
	決算額	0	0	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0		
		一般財源	0	0	0		
人件費	従事職員数(人)	0.10	0.10		0.00		
	人件費相当試算※	786,956.00	801,017.00		0.00		
総事業費試算		786,956	801,017	0	0		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値 実績値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	指揮隊出場件数（暦年）	目標値	件						
		実績値		95.00	122.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		指揮隊が出場する2隊以上の活動事案での出場件数/出場件数						
	実績値の算出式								
活動指標 2	訓練・研修回数	目標値	回	12.00	12.00				
		実績値		12.00	12.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年間訓練計画に基づく目標値とする。（実施回数を詳細に計上。） / 実施回数						
	実績値の算出式								
活動指標 3	資器材点検実施率	目標値	%	100.00	100.00				
		実績値		100.00	100.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		100%の資器材点検を目標とする。 / 実施日/365日×100						
	実績値の算出式								
成果指標 1	資器材常時使用可能率	目標値	%	100.00	100.00				
		実績値		100.00	100.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		車載されている全資器材の常時使用可能率。 / 使用可能数/全資器材×100						
	実績値の算出式								
成果指標 2	二次災害事故防止率	目標値	%	100.00	100.00				
		実績値		100.00	99.20				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		指揮隊が出場する災害活動での職員の二次災害事故防止率。 / 無受傷事故件数/全件数×100						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。  
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移	
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	年間訓練計画に基づき、計画通り訓練を実施することが出来た。また、車両及び車載資器材を通年点検することが出来た。	
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	車載されている全資器材の通年使用可能率を100%達成することが出来た。しかし、指揮隊が出場した災害において、職員の受傷事故が1件発生してしまったが、おおむね目標は達成できた。	
			評価者	指揮係長 加藤学・松本秀行

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由	
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	現場伝送システムの活用によって、リアルタイムに災害情報の共有を行うことができた。また、実災害の映像やタブレット端末を利用したweb会議により効率的に研修を実施することができた。	
			評価者	指揮係長 加藤学・松本秀行

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	現場先行型指揮要領による効果を更に高めるため、指揮隊の出場方法等の見直しを行い、指揮隊による情報収集の迅速化と、職員の受傷事故防止のための安全管理を徹底する。また、資機材や人員配置に関する課題を整理し効率性を高めるための検討を行う。
達成状況及び その効果	現場先行型指揮要領による効果を更に高めるため、各種災害における指揮隊の出場方法を検討、出場車列をその都度変更し、より迅速に現場到着することにより各小隊長の負担軽減を行った。また、指揮隊による情報収集の迅速化により、効果的な災害対応を実施することが出来た。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	指揮活動支援事務	担当課	花園消防課	担当係	花園消防署	管理番号	61211
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		指揮隊は、災害活動時における安全管理や各隊に対する円滑で効果的な活動を指示するうえで欠かすことのできない部隊である。一方で、指揮隊は深谷消防署、花園消防署の2署に配置され、車両や資機材の重複投資や人員が分散配置されている状況にあることから、消防組織再編基本方針に基づいた経営資源の再配置と、深谷消防署、花園消防署の本事業の統合によって、業務の効率化と高度化を図る必要がある。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	深谷消防課長 小林 晃昌				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

区分	活動指標 1	指標名	指揮隊出場件数（暦年）																																			
<table><tr><th>区分</th><th>活動指標 1</th><th>指標名</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>令和4年度</td><td>100</td><td>指揮隊出場件数</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>100</td><td>指揮隊出場件数</td><td>100</td><td>120</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>100</td><td>指揮隊出場件数</td><td>100</td><td>-</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>100</td><td>指揮隊出場件数</td><td>100</td><td>-</td></tr><tr><td>令和8年度</td><td>100</td><td>指揮隊出場件数</td><td>100</td><td>-</td></tr><tr><td>令和9年度</td><td>100</td><td>指揮隊出場件数</td><td>100</td><td>-</td></tr></table>				区分	活動指標 1	指標名	目標値	実績値	令和4年度	100	指揮隊出場件数	100	100	令和5年度	100	指揮隊出場件数	100	120	令和6年度	100	指揮隊出場件数	100	-	令和7年度	100	指揮隊出場件数	100	-	令和8年度	100	指揮隊出場件数	100	-	令和9年度	100	指揮隊出場件数	100	-
区分	活動指標 1	指標名	目標値	実績値																																		
令和4年度	100	指揮隊出場件数	100	100																																		
令和5年度	100	指揮隊出場件数	100	120																																		
令和6年度	100	指揮隊出場件数	100	-																																		
令和7年度	100	指揮隊出場件数	100	-																																		
令和8年度	100	指揮隊出場件数	100	-																																		
令和9年度	100	指揮隊出場件数	100	-																																		

区分	活動指標 2	指標名	訓練・研修回数																																			
<table><tr><th>区分</th><th>活動指標 2</th><th>指標名</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>令和4年度</td><td>12</td><td>訓練・研修回数</td><td>12</td><td>12</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>12</td><td>訓練・研修回数</td><td>12</td><td>12</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>12</td><td>訓練・研修回数</td><td>12</td><td>-</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>12</td><td>訓練・研修回数</td><td>12</td><td>-</td></tr><tr><td>令和8年度</td><td>12</td><td>訓練・研修回数</td><td>12</td><td>-</td></tr><tr><td>令和9年度</td><td>12</td><td>訓練・研修回数</td><td>12</td><td>-</td></tr></table>				区分	活動指標 2	指標名	目標値	実績値	令和4年度	12	訓練・研修回数	12	12	令和5年度	12	訓練・研修回数	12	12	令和6年度	12	訓練・研修回数	12	-	令和7年度	12	訓練・研修回数	12	-	令和8年度	12	訓練・研修回数	12	-	令和9年度	12	訓練・研修回数	12	-
区分	活動指標 2	指標名	目標値	実績値																																		
令和4年度	12	訓練・研修回数	12	12																																		
令和5年度	12	訓練・研修回数	12	12																																		
令和6年度	12	訓練・研修回数	12	-																																		
令和7年度	12	訓練・研修回数	12	-																																		
令和8年度	12	訓練・研修回数	12	-																																		
令和9年度	12	訓練・研修回数	12	-																																		